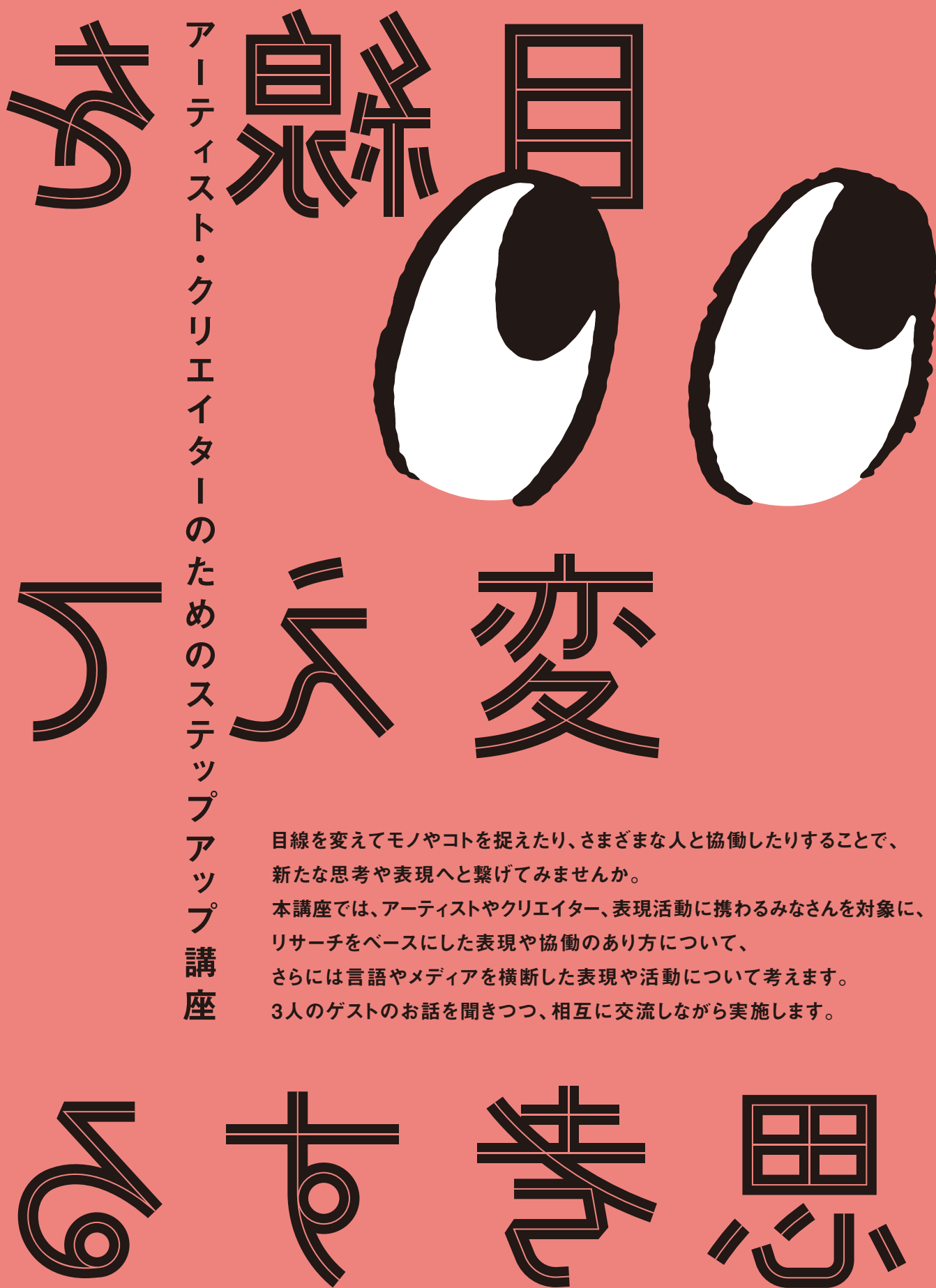




目線を変えてモノやコトを捉えたり、さまざまな人と協働したりすることで、
新たな思考や表現へと繋げてみませんか。

本講座では、アーティストやクリエイター、表現活動に携わるみなさんを対象に、
リサーチをベースにした表現や協働のあり方について、
さらには言語やメディアを横断した表現や活動について考えます。
3人のゲストのお話を聞きつつ、相互に交流しながら実施します。



リサーチをベースに表現や協働について考える

vol.1 リサーチと表現

表現活動の源泉となる日々のインプットや地域でのリサーチ活動のあり方を考える講座。『戦争のかたち』や『torii』など、フィールドワークをベースにした活動や作品で知られ、近年は香川県の直島に拠点を置く美術家／写真家の下道基行さんの取組について話をうかがい、参加者にも話題提供をいただきながら考察します。



下道さんのスペースの様子(直島)

ゲスト 美術家／写真家 下道基行

したみち・もとゆき 1978年岡山県生まれ。2001年、武蔵野美術大学造形学部油絵学科卒業。東京総合写真専門学校中退。フィールドワークをベースに、写真やイベント、インタビューなどの手法によって編集することで視覚化する。2019年ヴェネチア・ビエンナーレ日本館代表など、国内外さまざまな展覧会や出版で活躍。2019年より直島に移住、〈瀬戸内「」資料館〉を企画・監修。京都芸術大学客員教授。http://m-shitamichi.com/

日時 11月16日(日)14:00～17:00(途中休憩あり)
会場 レンガホール2階 多目的ホール(別府市末広町1番3号)
定員 25名 ※要予約
※応募多数の場合は、別府市在住の方を優先します。
参加の可否は、11月10日にメールにてご連絡いたします。
料金 無料 **応募〆切** 11月9日(日)まで

右記のQRコードを読み取り、
フォームに必要事項を記入のうえ、ご応募ください。



vol.2 映像表現としての 協働

多くの人が制作に関わり、1つの画面とタイムラインに作品をまとめあげる映像表現。本講座は『鉦 ARAGANE』や『セノーテ』『Underground アンダーグラウンド』などの作品を手がけるフィルムメーカー／アーティストの小田香さんに、関わってきたプロジェクトの背景や制作手法についてうかがいながら、その多様なあり方について考え、話し合います。



『アンダーグラウンド』の撮影風景

ゲスト フィルムメーカー／アーティスト 小田 香

おだ・かおり 1987年大阪府生まれ。イメージと音を介して「人の記憶のありか」「人間とは何か」を探索する。主な作品として、ボスニアの炭鉱を主題とした第一長編作品『鉦 ARAGANE』(2015)、メキシコの地下泉を掘った『セノーテ』(2019)など。2013年、映画監督のタル・ベラが陣頭指揮する若手映画作家育成プログラムであるfilm.factory(3年間の映画制作博士課程)に第1期生として参加し、2016年に同プログラムを修了。第1回 大島渚賞(2020)、第71回 芸術選奨文部科学大臣新人賞(2021)を受賞。

日時 12月6日(土)14:00～17:00(途中休憩あり)
会場 レンガホール2階 多目的ホール(別府市末広町1番3号)
定員 25名 ※要予約
※応募多数の場合は、別府市在住の方を優先します。
参加の可否は、12月1日にメールにてご連絡いたします。
料金 無料 **応募〆切** 11月30日(日)まで

右記のQRコードを読み取り、
フォームに必要事項を記入のうえ、ご応募ください。



言語やメディアを横断した表現や活動について考える

vol.3 言葉とメディアが 生み出す風景

インターネット、地域情報誌などのローカルメディアから飲み会まで、身の回りには「言葉」を介する表現がたくさんあります。福島県いわき市を拠点に多様な地域活動・執筆活動をおこなう小松理虔さんにお話をうかがい、レクチャーパフォーマンス『どんちゃん港』ではその実例を体験しながら対話します。



企画に関わった地元のアートイベント「らみずアーツキャンプ」でのコマ

ゲスト 地域活動家 小松理虔

こまつ・りけん 1979年福島県いわき市小名浜生まれ。報道記者、日本語教師、かまぼこメーカー広報などを経て2015年に独立し、地域活動事務所「ヘキレキ舎」を立ち上げ、地域の商店街でオルタナティブスペースを運営する傍ら、地域の医療、福祉、食、文化芸術などのテーマでさまざまな地域活動・執筆活動をおこなっている。『新復興論』で第18回大佛次郎論壇賞。いわきの地域包括ケア「igoku」でグッドデザイン金賞受賞。

日時 12月7日(日)
レクチャーのあと、飲み会を1つのメディア、コミュニケーションと考える小松さんが、『常磐線舞台芸術祭 2023』で、プロデュースした企画を体験します。
レクチャー／15:00～16:00
酒と話『どんちゃん港』(レクチャーパフォーマンス) 16:00～18:00
※体験企画(任意参加／対象年齢:20歳以上)
会場 紙屋温泉2階(別府市千代町8-2)
※駐車場はございませんので、近くの有料駐車場をご利用ください。
定員 25名 ※要予約
※応募多数の場合は、別府市在住の方を優先します。
参加の可否は、12月2日にメールにてご連絡いたします。
料金 無料 **応募〆切** 12月1日(月)まで

右記のQRコードを読み取り、
フォームに必要事項を記入のうえ、ご応募ください。



Photo: 後藤健

ファシリテーター 企画・編集者／合同会社 生活と表現 代表 橋本 誠

はしもと・まこと 1981年東京都生まれ。横浜国立大学卒業後、東京文化発信プロジェクトを経て2014年にノマドプロダクション、2023年に合同会社 生活と表現を設立。多様化する芸術文化活動と現代社会をつなぐ企画・編集等に携わる。主な企画に『都市との対話』(BankART StudioNYK/2007)、『KOTOBUKIクリエイティブアクション』(横浜・青町/2008～)など。秋田市文化創造館 プログラム・ディレクター(2020～2021)。編著に『危機の時代を生き延びるアートプロジェクト』(千一編集室/2021)。

本講座について

近年、別府では、文化的・創造的な活動のための拠点を別府に置くアーティストやクリエイター、マネジメント人材が増えはじめています。そのような方々の活動を支援すべく、表現や活動を考える講座を開催しています。

お問い合わせ

別府市創造交流発信拠点『TRANSIT』

TRANSIT

開館時間:11:00～17:00(火・水休み)
〒874-0938 大分県別府市末広町1番3号 レンガホール1階
Tel: 070-4208-9361 Mail: info@transitbeppu.com
Web: https://transitbeppu.com
※『TRANSIT』は別府市より委託を受けて、BEPPU PROJECTが運営しています。